



### 白門物理学会総会に参加して

第三十五期 田中 将角

皆様、お初にお目にかかります。田中将角(2001年卒)と申します。

この度、白門物理学会の総会および講演会にあたりその模様をレポートすることになりましたので、よろしくお願いたします。何しろこのようなレポートは初めてなので、乱文・乱筆はご容赦ください。

さて、時は2012年11月10日土曜日、冷気が日ごとに加わり冬の足音が聞こえる中、白門物理学会総会にて深井先生の御講演が行われるという案内を頂き、新居を構える神奈川県座間市の自宅より電車を乗り継いで東京メトロ後楽園駅に向かいます。学生時代から数えて十余年。東京ドーム周辺は関ジャニ∞のファンで



講演中の深井先生



報告をされる脇田監事

その真新しくなったキャンパスに白門から入り、白門物理学会総会が行われる6号館2階の教室に向かいます。余裕を持って到着したためか人影はまばらでしたが、それでも総会開始時点には、教室内に1期生である大先輩方や先輩・同期・

後輩など様々な顔ぶれが集まり、総勢48名が出席する中で白門物理学会総会が始まりました。普段の人はこの半分程度とお聞きしましたので、総会後に予定されている先生の御講演の効果によるものでしょうか。

さて、総会は当日に司会に指名された鈴木立夫氏(7期)による明瞭でよく通る声での進行と、議長篠田彬氏(1期)の下で執り行われ、会計の報告と会則の改定が1件、出席者全員の合意により決められました。総会が終わるといよいよ深井有先生による御講演が始まります。総会では48名であった出席者が講演開始時点では70名ほどに増え、教室内は3列席が最前列から後方まで全て埋まるほどの満席となりました。少しして先生が教壇に立つと、出席者全員の顔が学生時代に戻ったかのように引き締まっています。広めの教室でありましたが、先生は用意されていたマイクを使わずに講演なさるとの事で、学生時代と同じ風景が蘇ります。前面のプロジェクトに映し出された御講演の内容は「気候変動の真因は何か」。深井先生は金属物理学専攻ですが、一研究者として気候変動の真因について多くのデータを分析し様々な観点からこの問題に対して考察を行って

ます。詳しい内容については先生の著書である「気候変動とエネルギー問題ーCO2温暖化論争を超えて(中公新書)」を是非読んで頂きたいと思えます。御講演ではこの本の内容に加えて、新しく分かったこと

など最新の内容についてお話がありました。総会後は同じ6号館の地下1階、スエヒロ食堂があったところで出席者を迎えたいと思えます。御講演ではこの本の内容に加えて、新しく分かったこと

と赤ワインに舌鼓を打ちつつ、昔話に花が咲いてしまった、飲み過ぎてしまいましたが、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。総会に参加することで様々な知見を得ることができました。昔の仲間とも出会うことができました。皆様も是非ご参加を！

最後にこのような機会を頂きました白門物理学会の諸先輩方・皆様に大変感謝いたします。



第四十期 照井 雄一朗  
甚大な被害をもたらした東日本大震災から、早いもので2年半の月日が経ちました。国難に直面したあの日、私は液状化で甚大な被害を受けた千葉県の新浦安エリアにある増改築工事の現場にいました。地面から湧き出る泥水(噴砂)とライフラインの停止、そしてその後の復旧活動については2年前の「ぶつり」に寄稿させて頂きました。本稿ではその後の2年半でのお客様のニーズと、建設会社の事業環境の変化について、現場マンの視点でご紹介したいと思います。

建設会社におけるお客様とは、直接的には発注者(施工主)をさしますが、この施工主の意識が大きく変化しました。これまでは「頑丈で高品質な建物を建てたい」というニーズが多かったのですが、震災を機に「頑丈で高品質で災害に強い建物を建てたい」というニーズに変化してきました。この「災害に強い」というのがキーです。1981年6月以降に建築確認を受けた、いわゆる新耐震基準で建てられた建物ですと、ちょっとやそつとの地震で建物が倒壊するということはありません。実際、先の震災に

きます。皆様も是非ご参加を！  
最後にこのような機会を頂きました白門物理学会の諸先輩方・皆様に大変感謝いたします。

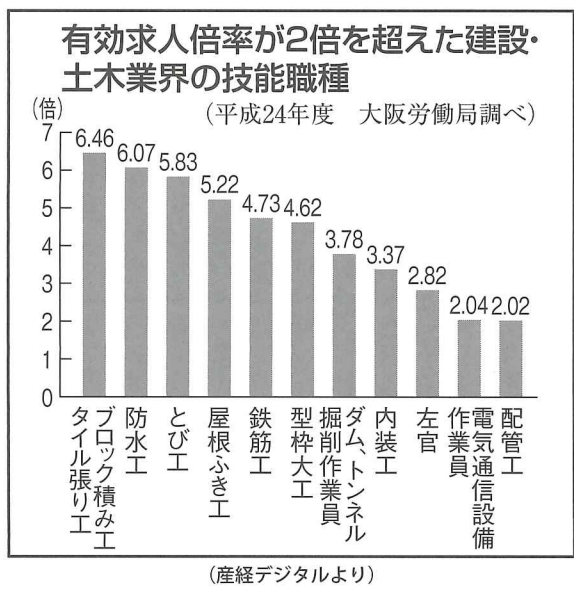
### 震災からの2年半を経て

おいても建物の倒壊によって仕事や生活ができなくなったという方も、電気や水道といったライフラインの機能停止によって仕事や生活に支障が出たという方ははるかに多かったと思います。停電すれば照明は点灯しませんし、エアコンを動かすこともパソコンでメールチェックをすることもできません。また、上水が断水すると水道の蛇口を捻っても水は出ません。これでは仕事になりませんし、満足に生活もできません。

そこで災害が起きた後も起きる前と同じように業務を続けるーBCP(事業継続計画)ーの観点で「災害に強い」建物が広く求められるようになりました。例えばオフィスビルの場合、停電時も電気の供給が必要な負荷を建物建設段階において想定することにより、停電発生時は発電機によって電気を供給することができ、マンシヨンの場合は停電・断水時にも使用できるトイレを設置することで最低限の文明的な生活を送ることが出来ます。

ちなみにこのようなBCPという概念は震災前からありましたが、費用対効果の点から大企業の本社ビル等での導入が主で、広く一般には浸透していませんでした。しかし現在は企業規模等により広く一般的なニーズになってきているのを感じます。また、ニーズという意味では、こういったBCP対策が必要となる設備を災害のない平常時も有効活用することで日常のエネルギーコストを下げ、実質的な負担を減らすという取り組みが昨今のトレンドになっています。

◆深刻な労務不足と高齢化  
建設会社の事業環境について語るうえで欠かせないのが震災後の労務不足です。工事現場で働く作業員(職人)の方が圧倒的に不足しています(図)。元々バブル崩壊に伴う建設投資の減少と受注競争の激化に伴う賃金減少によって、年々作業員の方が減っていった中で震災が発生しました。工期内に工事を終えてお客様にお引き渡しをするということは非常に重要な意味を持つのですが、モノはあってもヒトが足りないために工期内に工事の終わらないプロジェクトが出てくるようになりました。



また、労務不足と並んで悩ましいのが高齢化です。これは少子高齢化が国

レベルで進んでいるので仕方がないという見方もあるかと思いますが、建設業におけるそれは顕著です。平成25年6月21日付の厚生労働省・国土交通省の発表によると、平成24年時点において55歳以上の就業者の占める割合は全産業平均28.7%に対して建設業では33.6%と約5%高く、逆に29歳以下の割合は全産業平均16.6%に対して建設業は11.1%と5%以上低くなっています。ちなみにこの数値、私のような現場監督や設計者も含めた数値です。工事現場を見ますと作業員の方のほとんどが人生の大先輩、高齢な方々です。

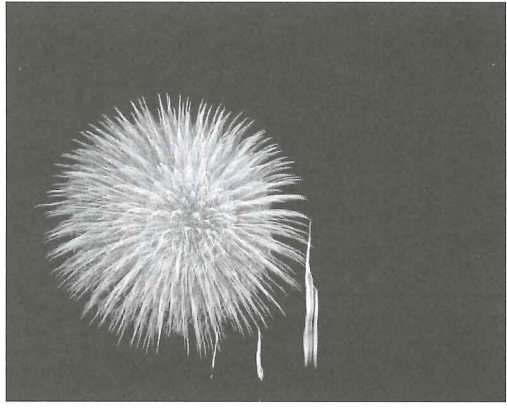
◆五輪に向けて  
本稿執筆時、2020年のオリンピック開催地に東京が選定されるという嬉しい知らせが入ってきました。日本人として7年後を意欲してトレーニングに励む多くのアスリートを応援したくなると同時に、会場建設に携わる多くの作業員の方々の技術の継承も応援したいと思います。

レベルで進んでいるので仕方がないという見方もあるかと思いますが、建設業におけるそれは顕著です。平成25年6月21日付の厚生労働省・国土交通省の発表によると、平成24年時点において55歳以上の就業者の占める割合は全産業平均28.7%に対して建設業では33.6%と約5%高く、逆に29歳以下の割合は全産業平均16.6%に対して建設業は11.1%と5%以上低くなっています。ちなみにこの数値、私のような現場監督や設計者も含めた数値です。工事現場を見ますと作業員の方のほとんどが人生の大先輩、高齢な方々です。

# 第14回 白門物理の集い 初参加の感想

第四十一期 菅原 泰晴

2013年6月1日(土)から2日(日)にかけて、中央大学葉山寮にて、第14回「白門物理の集い」が開催されました。上は1期から下は41期にいたる幅広い世代の卒業生に加え、竹山先生、齋藤先生、黒沢先生、田口先生、杉本先生、脇田先生を含めた、計28名の方々が参加されました。今回、私の同期の久保くんが講演されるということで、齋藤先生と杉本先生からお誘いがあり、白門物理の集い@葉山寮に初めて参加させていただきました。



逗子海岸で打ち上げられる花火

当日は天気良かったので、逗子駅を降りたあとは、逗子海岸沿いを通って、徒歩で会場である葉山寮に向かいました。この日は逗子海岸花火大会が行われるため、駅周辺も海岸も、途中の道に至るまで多くの人達でにぎわっており、活気のある町という印象を受けました。思ったより時間がか

から30分ほどで葉山寮に到着しました。葉山寮については、「東京から近く、食事もおいしくとても良いところなので一度行ってみなさい」と以前から同僚や先生方から勧められていました。実際に行ってみて思った、素晴らしいです。素晴らしさについては、残念ながら、私の文才だと、この紙面だけで語りつくすことができません。過去の会報「ぶつり」で、多くの方々が、葉山寮の印象や魅力を語っており、その中で、そちらをぜひご覧ください。

到着すると、講演を行う部屋には、すでに多くの参加者がいらしており、各々談笑したり、散歩へ出たりと講演時間になるのを待っていました。講演は、機材の準備などの関係で予定より一時間ほど遅れ、17時から始まり、41期の久保渉さんがハイブリッド(HV)自動車についてお話ししました。車の基本構造や、現在販売されている各社のHV車について、それぞれの違いや利点を分かりやすく教えていただきました。車を所有してはいない私にとっては初めて聞くことばかりでとても興味深いものでした。また、講演の終了後、現在の現

講演が終了し、一段落したタイミングで夕食の時間となり、噂通りのとても豪華な食事がでてきました。これは非常においしかったです。夕食後は、『先生を囲んで一晩語り合う会』が開催されました。アルコールを飲みつつ、話が弾んできたあたりで、逗子海岸花火大会の音が聞こえてきました(花火の爆音と振動が部屋の中まで響いてきました)。約7000発打ちあがる花火を見に行こうということで、多くの方々は、途中で花火を見に出かけて行きました。一方、私を含めた数名の方々は、部屋で花火の音だけ楽しみたい、お酒を片手にお話しをしてみました。あとで花火の写真や動画をみせていただきましたが、非常にきれいで

た(この写真や動画は白門物理会のホームページで公開されています。ぜひご覧ください)。花火を見終わった人たちが合流し、その後も宴会は続きました。よく飲む方が多かったため、途中でお酒がなくなり、急遽買い足してもらったというハプニングもあつたようです。結局、宴会は午前2時まで続きました。個人的には、黒沢先生がお酒をたくさん飲まれ、宴会の最後まで様々なお話ししていた様子が印象的でした。自分の両親よりも年上の方々から、様々なお話しや経験談を聞くことができ、この宴会では色々勉強させていただきました。

翌朝は、みんなで朝食をとり、その後、庭で葉山寮をバックに記念撮影しました。あとは自由解散。それぞれ、「来年、また会おう!」や「お元気です!」と別れの挨拶をして、朝市へ出かける方々もいれば、バスの時間を見計らって帰る方々、葉山を散策してから帰る方々など、別々に葉山寮をあとにしました。

今回初めて「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

正面の「閻魔堂」には鎌倉時代の作と伝わる高さ1メートルの「閻魔王」の坐像が安置されている。すぐれた彫刻美術品である。手前に置かれた写真をよく見ると右目が濁って見える。宝暦の時代(1751-64)閻魔王が目を患った信心深い老婆に己の右目を与え、老婆は感謝のしるしとしてこんにやくを供えた。「こんにやくをくくく」として庶民の信仰を集めた。今でも眼を患う人のお参りのお寺である。境内に供えられた御札にも病気に目を癒すの病気がおなるようにとの願いを書いたものが多く見受けられる。

今月初めて「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

7月、理工学部のオープンキャンパスが開かれたこの日、近く小石川2丁目の「浄土宗・常光山・源覚寺」ではにぎやかに「ほおずき市」が開かれていた。緑色の提灯が見事に彩りを加え、境内いっぱい鉢植えのほおずきが展示され多くの人々が買いもとめる、着物姿の男女も行き交う情緒ゆたかな光景である。

「汎太平洋の鐘」がある、名前からすると新しい時代のもののようにだが、なんと元禄3年に铸造されたもの。サイパン島にわたり、その後米国テキサス州で発見され当寺に寄贈された数奇の運命のもの。この鐘の音を聞いてみたいものだ。外に珍しいものでは「塩地蔵」がある。「清めの塩」をお体に盛ってお参りをするもので、地蔵様のお顔が見えなくなっている。「こんにやく」といえば群馬県・下仁田町を思い浮かぶ。下仁田町のコーナードもできて、名産の板こんにやくや冷しこんにやくが手頃な値段で販売されていた。「こんにやくをくくく」として庶民の信仰を集めた。今でも眼を患う人のお参りのお寺である。境内に供えられた御札にも病気に目を癒すの病気がおなるようにとの願いを書いたものが多く見受けられる。

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

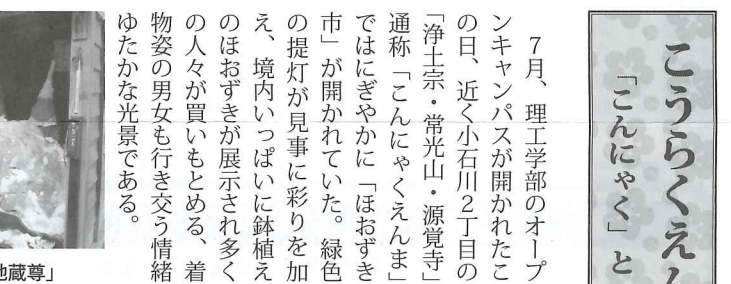
「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?



講演の様子

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?



珍しい「塩地藏尊」

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

見事に並べられたほおずきを楽しむ人々

## 施設見学会に参加して

第五期 宮内 良子

お天気にめぐまれた4月13日(土)13時前に多摩都市モノレール高松駅に下り立ちました。当日の参加者は4人でした。そこから歩いて多摩都市モノレールの会社へ向かいました。6期出てくださったのは6期の後藤さん。お休みにもかかわらず、モノレールの概要をパンフレット等で説明をしてください。車両基地の見学にもお付き合いました。幸運なことに車庫内の分岐器を実際に動かして、車庫線から本線への切り替えの様子も見ることができました。そして、会社の展示室に戻り駅の自動ドアの機械、モノレールのミニチュア模型を動かしてもらいました。その後は歩いてそれ程離れていない北極南極科学館へ。行くまではあまり大きな建物ではないと聞いていたので、展示もそれほど多くはないと思っていました。しかし、中に入ると驚きました。入館すると南極のオーロラを

もう一度行ってみたいなど思いました。予定では、立川駅まで徒歩で移動して途中昭和記念公園を散策することになっていましたが、北極南極科学館での予想以上の興味深い展示の数々で、昭和記念公園は急遽パス、立川駅まで歩いて戻りました。今回の施設見学会に、お忙しい中お骨折りいただきました後藤さんに感謝いたします。

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?

「白門物理の集い」に参加させていただき、あとで振り返るとばかりが思い出されま。来年もぜひ参加させていただきます。働き盛りの方々は、なかなか時間が取れないのかもしれないが、今まで参加したことのない方は、ぜひ「白門物理の集い」に参加し、「葉山寮」へ来てみてはいかがでしょうか?



解散を前にしての記念撮影



参加メンバー



モノレールの整備について説明を受ける



歴代の南極観測船模型の前で

清水 正記

築五十年

第四期 杉本 秀彦

物理学科の設置は、1962年(昭和37年)のことです。一昨年2011年で設立五十年を迎えたということになりました。物理学科第一期生の卒業は1966年3月です。今年2013年3月に卒業した物理学科の学部生は、48期生、今年入学の学生は52期生ということになります。物理学科設立以前の学部名は工学部でした。編成は「土木工学科」「精密工学科」「電気工学科」「工業化学科」の四学科です。工学部は戦後間もない1949年4月に発足しています。四学科体制から、数学科、物理学科、管理工学科の三学科が同時に設立されて、七学科体制の学部に変更され、学部名も工学部から理工学部になります。これが1962年のことです。この七学科体制がしばらく続いた後、情報工学科、生命科学科と学科が増設され、昨年は人間総合理工学科が新設されました。また、この間の時代の変化とともに、学科名の変更も加えられ、理工学部の現在の学科編成は、数学科、物理工学科、都市環境工学科、精密機械工学科、電気電子情報通信工学科、応用化学科、経営システム工学科、情報工学科、生命科学科、人間総合理工学科です。これら十学科体制で教育研究活動が後楽園校地で行われています。

物理学科設立の母体になったのは、工学部時代に設置されていた教養物理教室です。当時の大学には、教養課程と呼ばれる科目群があり、教養物理や教養化学が、自然科学の基礎の科目として履修されていました。教養物理教室はこの教養課程の物理の講義と実験を教育する組織で、工学部四学科の教養物理の講義と実験を担当するとともに、法学部、経済学部、商学部の文系三学部と法学部通信教育部に講義や実験を教えていました。そのため受講者は数千人になりました。物理学科設立時の施設は総武線の水道橋駅近くにあり、教養物理実験室と共同研究室だけでした。それが翌年の1963年に現在の後楽園校地に新校舎、一号館、二号館、三号館が完成し、それぞれに移転します。このときから今年で五十年たちました。物理学科は一号館に入ります。当時の後楽園校舎周辺には、都電が縦横に走っており、春日町交差点には四路線の都電が運行されていました。また、近くには後楽園遊園地、後楽園球場、競輪場があり、大混雑することがたびたびでした。東京都の人口が1000万人を突破したのが、物理学科設立の年の2月です。大都市への人口集中が起っていた時代です。この年の今も記憶に残る出来事としては、国鉄戦後五大事故の一つに数えられる三河島事故や堀江兼一のひとりぼっちのヨットによる太平洋横断そして、核戦争勃発かと世界を震撼させたキューバ危機があります。



平成24年度物理学科及び大学院理工学部の卒業式は平成25年3月24日13時から式典が、15時00分から5234号室で授与式が行われました。大学院修了者20名、物理学科卒業生77名に宗行物理学科主任教授(以下、宗行先生)から「学位記」が授与されました。

平成24年度理工学部 物理学科卒業式

授与式は、石井先生の司会進行で始まりました。宗行先生から「学位記」の授与と、その後「お祝いの言葉」として「難しいと思って聞いていたかもしれない物理学について時々振り返って自問自答してみてください。私の友人でIT関連の仕事をしている者がいます。その彼が言うには、世の中に出てから大学で学んだことがすぐグンと化してしまふ。その時、物理学の基礎が大いに役に立った。これからの長い人生、基礎を身に付けたことは一番の財産。努力した後の達成感を覚えておいてほしい。健康に留意し、自立した、豊かな今後を望みます。家族への感謝も忘れず」との話がありました。

この最初の衛星中継でケネディ米大統領暗殺が伝えられます。翌年には、東海道新幹線が開通し、東京オリピックが開催されます。まさに日本の高度成長時代が始まった時期です。あれから半世紀たちました。都電が地下鉄にかわり、超高層ビルが林立しています。若者が溢れていた東京は、少子高齢化で壮年や老年の人たちが目立ち始めています。理工学部周辺も当時あった丸の内線に加えて、南北線、都営三田線、大江戸線と三つの地下鉄線が新たに走っています。都電の姿はそこにはありません。後楽園校舎内の建物も大きく変わりました。新たに五号館と六号館が建設され、従来あった二号館と三号館が壊されて、新二号館と新三号館になりました。後楽園校舎で五十年の歴史を持つ建物は一号館だけになってしまいました。物理学科は築五十年になる一号館で学生実験や卒業研究を今も行っていきます。同窓の方々の共通の思い出である一号館が残っているうちに是非物理学科をお訪ねください。

その後OBを代表して「白門物理会」の鍋田会長から白門物理会の案内(目的、活動等)と機関紙及び取材秘話の説明並びに卒業生に贈る言葉として(1)卒業に当たって物心両面にわたって支援して頂いたご家族の方々に感謝を捧げます。(2)間もなく古希を迎えますが、まだ現役で弁理士をしています。物理に限らず医療や生命科学など新しい学問にも関心をもちたいと思います。(3)また、歴史について「人の歴史」について学んでください。生き方の上で参考になります。アルコールはほどほどに！体を労わって頑張って仕事に励んでください。との話がされました。

- 1) 物理学科の石井靖教授が理工学部学部長・大学院理工学研究科委員長に選出されました。着任は2013年11月、任期は2年です。2) 「物理の集い」で使用していた中大葉山寮が2014年3月末で閉鎖になります。建物が耐震基準を満たさないため、取り壊すことになりました。今後「物理の集い」を実施できる施設(旅館、民宿)をご紹介します。

会費の納入について (お願い)

白門物理会副会長 (会計担当) 4期 佐々木文三 「白門物理会」も活動の輪を確実に広げつつあります。これも、会員皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。さて、「新しく会員を希望された方」「通常会員で自動振込み手続きをされていない方」「会費の納入」方法についてご案内させていただきます。(1)白門物理会の会費には2種類あります。①通常会員会費 金3,000円也 但し、「白門物理会」通常会員会費として毎年徴収させていただきます。②終身会員会費 金30,000円也 但し、「白門物理会」終身会員会費として1回限り徴収させていただきます。(2)会費納入方法は以下のとおりです。①直接納入 「総会」「白門物理の集い」等に出席の際、会計担当が承ります。②銀行等からの振込による納入 1) 郵便局を利用される方 記号 10040 番号 84063461 名前 白門物理会 代表者 佐々木文三 住所 112-8551 文京区春日1-13-27 中央大学理工学部物理学科内 2) 銀行を利用される方 三菱東京UFJ銀行 店番 231 口座番号 0691988 名前 白門物理会 代表 佐々木文三 ③MBS(明治安田システム・テクノロジー)株式会社による口座自動振替による納入 別途手続きが必要です。e-mailで連絡を下さい。

編一集一後一記

世界遺産に決まる前からの予定通り富士山に登ってきました。頂上では野良犬に出会い、当日は今夏初の登山中死亡者があったのでした。振り返ってみると、天候を予想しながら日程、ルート、宿、交通手段を決め、装備をそろえ、などと準備をしているときが楽しく、いざ登り始めるとひたすら登りだけの道、高度が上がるにつれ苦しくなる、などという辛い記憶が残るのです。計画段階を経験せずに登りだけだった人は辛かった思い出だけかもしれません。これが富士山は登るのではなく眺める山、一度登れば二度と登りたくない山などと言われるのでしょうか。苦楽が逆のこともあるかとます (敬称略)

会計報告

Table with financial data for the 24th year. Columns include (Budget) and (Actual). Rows include Income (Income, Fees, Receipts, Carryover) and Expenses (Total, Thanking, Printing, Postage, etc.).

平成24年度会計監査報告 ①監査執行日 平成25年10月18日 ②監査項目及びその状況 帳簿、証ひょう類、現金、預貯金とも正確である。 ③その他事項はありません。 会計監事 脇田順一(第27期)印 会計監事 倉繁正和(第8期)印

平成25年度予算案

Table with financial data for the 25th year budget. Columns include (Budget). Rows include Income (Income, Fees, Receipts, Carryover) and Expenses (Total, Thanking, Printing, Postage, etc.).